

2 個別事業評価調書

団体名： 笠置町

事業名		ボランティアコーディネーター設置事業			
事業の概要		<p>会社を退職した方をはじめとした住民の方々が、社会貢献する場を求めているという声が以前より寄せられています。</p> <p>行政として行える福祉事業等については、実施経費の関連や行政立場としての限界から実施できないこともあることから、このような声は、地域住民による地域の繋がり活性化として大いに期待したい意見であり、また、その方達の豊富な知識と経験を生かしていただき、よりすばらしい地域づくり・まちづくりに繋げることができると考えます。</p> <p>そのため、ボランティアコーディネーターを設置し、住民へボランティアに関する情報提供等を行います。</p>			
		事業期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日		
		総事業費	2,573千円	本年度事業費	2,573千円
事業評価	事業の必要性	<p>この事業は各種団体や住民の方々にボランティアに関する情報の提供や、ボランティア希望者への意思をまとめて活動へと繋げることを目的としています。そのため、活動を通じて地域住民との繋がりが促進され、地域の活性化が進み、笠置町に対する思い、相互扶助の精神が養われると考えます。</p> <p>また、ボランティア活動の広報・啓発を行うことで、新たなボランティア活動へと発展することができると考えます。</p>			
	事業の有効性				
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		<p>2 住民の自治意識を高める成果</p> <p>広報誌等を通じて様々なボランティア活動についてより多くの住民に関心をもっていただき、また既に活動を実施している自主活動グループには積極的に支援を行うことにより、ボランティアの大切さ楽しさを広め、住民による社会参画を通じた相互扶助の大切さや、健康づくり・生きがいづくりに繋げることができたと考えます。</p> <p>(ボランティアだより730部発行、わがまちの災害ボランティア講座参加者13名、ボランティア活動希望相談2件等)</p>			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。